

1 「チャレンジスピード2」

(1) 対象：小学校、小学校特別支援学級、
特別支援学校（小学部）

【コース図】

(2) 部門：「クラス」及び「グループ」

(3) 方法

○1チームは10人以上で行います。

○12mのコースの1つめのコーンをスタート及びゴールとします。

○2m間隔に置いた7つのコーンの前半はまっすぐ走り、
コーンを回り、後半はジグザグに走り、バトンパスは行わず、
現走者がゴールライン（最後のコーン）を越えたら次走者は
スタートします。（右図参照）

(4) ルール

○カラーコーンに触れてしまったとき、倒してしまったときは
無効とし、もう一度最初から実施します。

○次走者がフライングをした場合は記録を無効とし、もう一度
最初から実施します。

(5) 報告記録

○タイムは、アンカーがゴールラインを通過した時点で
100分の1秒まで計測します。

○全参加者の平均タイムを、記録とします。「○秒○○」

合計タイム÷実施人数＝平均タイム（1、000分の1秒を切り上げ）

